資料２－４

新農業構想と現農業構想の施策の関連整理（案）

新農業構想の基本方針案		（取り組む方向性）	新農業構想の施策案
１ 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進	① 「儲かる農業」に向けた農業生産基盤の整備・保全	・農地の大区画化・水田の汎用化 ・農業生産基盤の強靭化 ・農地の集積・集約化の推進、スケールメリットを活かした農業経営	1. 優良農地の整備促進 2. 低平地を支える農業水利施設の整備・保全 3. 農地の保全と活用
	② 生産性向上と持続性の両立に向けたスマート農業技術の導入促進	・特区制度を活かし、スマート農業、デジタル技術の導入支援 ・現場ニーズに寄り添った脱炭素化・環境負荷低減に資するデジタル活用推進	4. スマート農業やデジタル技術の活用
	③ 意欲ある担い手等の確保・育成	・多様な担い手の確保・育成 ・経営拡大を進める担い手の育成	5. 新規就農者・農業を担う者等の確保・育成 6. 多様な人材が活躍できる環境づくり 7. 農業経営の確立
	④ 新たな需要に応える農産物の生産体制の強化	・生産技術の課題解決、付加価値の高い農産物の生産に対する支援 ・需要に応じた多様な米づくりと園芸導入による複合営農の推進	8. 販売力のある米づくりの推進 9. 園芸生産の導入と拡大 10. 農産物の安定生産 11. 脱炭素・環境負荷軽減の促進
	⑤ 所得拡大に向けた販売力の強化	・園芸作物（野菜、果物、花き）の販売促進・販路開拓 ・食に関する新たなビジネスチャンスの創出や農産物の輸出促進	12. 官民連携による販売促進体制の確立 13. 国内外の新たな販路開拓
２ 農林水産業を活かしたまちづくり	① 地域資源を活用し、コミュニティの活力を創出	・６次産業化や農商工連携の支援 ・障がい者や農業サポーターなど多様な人材活躍 ・田園環境や景観などの地域資源の保全の取組促進	14. 新規事業展開への支援 15. 農業を通じた活躍の場の提供 16. 多面的機能のさらなる発揮
	② 食と農への理解促進とシビックプライドの醸成	・市民が農業に触れる機会の創出 ・農業体験を通じたシビックプライド醸成 ・地産地消の促進	17. 農業体験機会の提供 18. 食育・花育の推進 19. 地産地消の推進
	③ 新潟の農水産物と食文化を全国に発信	・食と花、食文化の魅力発信、触れる機会の提供	20. 食と花、食文化の魅力発信・PR 21. 食の魅力を活用した他分野との連携の促進

現農業構想の施策	現農業構想の基本方針
1. 販売力のある主食用米づくり 2. 水田フル活用の推進 3. 低コストな米づくり 4. 品質の確保された農畜産物の生産 5. 安定した生産量の確保 6. 新たな品目・品種への取り組み 7. 地産地消の推進 8. ブランド化の推進 9. 国内の販路拡大・輸出の促進	１．競争力のある食と花の確立【生産・販売に関する方針】
10. 新規就農者・農業生産法人等の確保・育成 11. 農業経営の確立 12. 農家の連携の強化 13. 女性農業者への支援	２．意欲ある多様な担い手の確保・育成【担い手に関する方針】
14. 農地の保全・活用 15. 優良農地の整備促進 16. 施設老朽化に対する効率的な保全 17. 低平地を支える農業農村整備の推進	３．力強い農業生産基盤等の整備・保全【農業生産基盤に関する方針】
18. 環境保全型農業の推進 19. 環境に配慮した整備の推進 20. 資源循環型社会の形成 21. 防災機能の向上 22. 魅力ある田園集落づくりの推進	４．魅力ある田園環境の創出【農業と環境の共生に関する方針】
23. 食育・花育の推進 24. 農村・都市交流の推進 25. 教育ファームの推進	５．食と花の理解を深める農のある暮らしづくり【多様な体験と交流に関する方針】